



第33回 長崎大学病院 ICLSコース 報告書



「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」

令和4年5月14日(土)開催

主催：長崎シミュレーション教育研究会
共催：長崎大学病院 長崎外来医療教育室
地域医療支援センター
シミュレーションセンター
救命救急センター

第 33 回 I C L S コー ス

コースの目的

本コースは、初期研修医の救命医療における知識と技術の向上を目的として開催した。

ICLSとは

日本救急医学会が主催、または「コース認定」をして行う、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。

身につける行動の目標は以下の通りです。

- ・蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
- ・BLS(一次救命処置)に習熟する
- ・AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
- ・心停止時の4つの心電図波形を診断できる
- ・除細動の適応を判断できる
- ・電気ショックを安全かつ確実に行なうことができる
- ・状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- ・気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
- ・状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- ・治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行動にできる

実施結果

受講生6名が当コースを修了し、ICLSアシスタントインストラクターの資格を得た。

今回の受講生は、5名初期研修医(2年次×3名、1年次×2名)、看護師1名であった。

スタッフ(コースディレクター1名、サブディレクター1名、インストラクター3名、アシスタントインストラクター2名)計7名で、指導を行い、1ブースを問題なく運営した。

※スタッフ詳細はP.6

各ブースにおける感染予防対策

1. BLSブース

- 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング
 - ・手技の前後に都度行う
- 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング
 - ・セッション開始前(インスト全員で実施)
 - ・1手技終了後(フィードバックを受けていない受講者にも協力を依頼)
- 3) 備品消毒箇所
 - (1) マネキン
 - ・胸部
 - ・頸部
 - ・顔面
 - (2) BVM
 - (3) AED
- 4) その他
 - ・受講者2人につき、マネキン1体とする
 - ・呼気吹き込みを行う人工呼吸の練習は割愛する



2. 気道管理ブース

- 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング
 - ・手技の前後に都度行う
- 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング
 - ・セッション開始前(インスト全員で実施)
 - ・1手技終了後(フィードバックを受けていない受講者にも協力を依頼)
- 3) 備品消毒箇所
 - ・気道管理マネキンの顔面
 - ・経鼻カニューラ、酸素マスク、リザーバーマスク
 - ・エアウェイ
 - ・喉頭鏡
 - ・気管チューブ
 - ・スタイレット
 - ・赤シリンジ
 - ・カフ圧計
- 4) その他
 - ・窒息解除・声門上デバイスに関しては、全体に対して紹介説明のみ行う。



3. モニターブース

- 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング
 - ・シナリオ開始時
 - ・シナリオ終了時、着座前

2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・シナリオ終了時(PC・タブレット操作者が実施)

※PC・タブレットの消毒は、次操作者が実施

3) 備品消毒箇所

(1) マネキン(上着を外す)

- ・胸骨圧迫部
- ・モニター装着部
- ・頸動脈部
- ・顔面

(2) モニター付き除細動器

- ・両パドル
- ・リード
- ・スイッチ



4. シナリオブース

1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング

- ・シナリオ開始時
- ・シナリオ終了時、着座前

2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・シナリオ終了時(PC・タブレット操作者が実施)

※PC・タブレットの消毒は、次操作者が実施

3) 備品消毒箇所

(1) マネキン(上着を外す)

- ・胸骨圧迫部
- ・モニター装着部
- ・頸動脈部
- ・顔面

(2) BVM

(3) モニター付き除細動器

- ・両パドル
- ・リード
- ・スイッチ

(4) 輸液・薬剤

(5) 記録

- ・ホワイトボード
- ・ストップウォッチ
- ・マーカー
- ・イレーサー



タイムテーブル

〈実施内容〉

開 催 日 時	令和4年5月14日（土） 9：20～15：40
受 講 者 数	6名
対 象	初期研修医/看護師
場 所	長崎大学病院 シミュレーションセンター

〈スケジュール〉

			グループ(A-1)	グループ(A-2)
09:10～09:20	10分	受 付	シミュレーションセンター入口	
09:20～09:30	10分	オリエンテーション	多目的研修室/移動	
09:30～10:20	50分	気道管理・ モニター/BLS	気道管理シミュ1	BLS シミュ2 モニター シミュ2
10:20～10:30	10分	休憩・移動		
10:30～11:20	50分	気道管理/ モニター/BLS	BLS シミュ2 モニター シミュ2	気道管理シミュ1
11:20～11:30	10分	休憩・移動		
11:30～12:40	70分	VF/ p VT	シミュ2	
12:40～13:20	40分	昼 食		
13:20～14:10	50分	non VF/ p VT	シミュ2	
14:10～14:20	10分	休憩		
14:20～15:20	60分	Megaコード	シミュ2	
15:20～15:30	10分	移 動		
15:30～15:40	10分	終了式・修了証授与式	終了式・修了証授与式 多目的研修室	

午前：気道管理
シミュ1

インストラクター：★崎村 百木
アシスタント：古川

午前：モニター
シミュ2

インストラクター：★北山
アシスタント：梅村

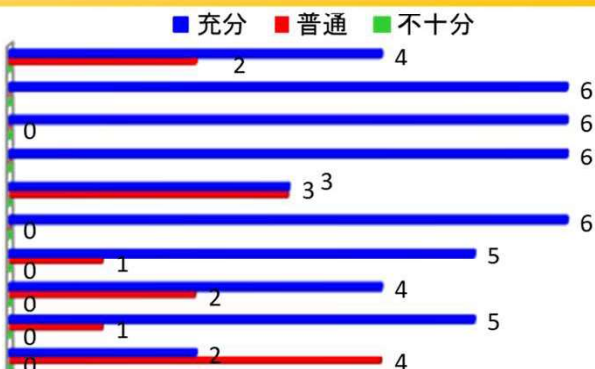


◆アンケート◆ 受講生の声

1)到達項目について、到達できたと思いますか

自己評価

突然の心停止に対し最初の10分間適切なチーム蘇生を習得する
蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
BLS(一次救命処置)に習熟する
AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
心停止の4つの心電図波形を判断できる
除細動の適応を判断できる
除細動を安全かつ確実に行うことができる
状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
気道が確実に確保できているかどうかを判断でき
治療可能な心停止の原因を検索できる



2)講習会を受けるまでの自分を振り返ってみて、講習会を受けた後の自分はどう変わったと思いますか？

- ・変わった。
- ・自信を持って、BLSの現場に飛び込めるようになったと思います。
- ・除細動の安全な使い方がわかった
- ・次何をするか、予測することができるようになった。
- ・指示されたことだけでなく、次の流れを考えて動くことができるようになったと思います。
- ・自発的に動く事があまり出来ていなかったが、今回リーダーを経験してどういう動きをしたら良いのか分かった。

3)カリキュラムについて、お尋ねします

講習時間



指導内容(量)



講習内容に対しての
時間設定



その他の意見:とても実り多い講習でした。

4)インストラクターに一言

- ・ありがとうございました
- ・休日に関わらず熱心にご指導いただきありがとうございました！市中に戻ってさっそく生かしたいと思います。
- ・わかりやすくご指導かつおもしろい劇をありがとうございます
- ・ご指導ありがとうございました。
- ・熱心に指導していただきとても勉強になりました。この時間で学んだことを今後活かしていきたいです。
- ・お忙しい中分かりやすく教えていただきありがとうございます。今日のことを生かしてこれからの医師生活に活かしていきたいと思います。

5)設備(会場、資材、機材)、環境(温度、湿度、照明、雑音)について気になったこと

- ・少し肌寒く感じました。
- ・環境が整っていると思った。
- ・特になし(3名)
- ・良かった(1名)

6)参加費は・・・



7)その他、要望、改善点、気づいたことなどがありましたらお書きください

- 記載なし

8)今後、他の医療関係者にも、新しい蘇生法を広めるため、この会のスタッフに参加したいですか

- 武優希
- 中山龍彦
- 岩崎悠花

計3名



◆アンケート◆ スタッフの声

【受講生について】

1)受講者の態度・意欲はどうだったか？

- 意欲はありました。
- 積極的
- 真面目でしっかりした方たちだった。
- 真面目に取り組み、質問も多かったです。
- 良かったと思います。
- 一生懸命取り組んでいました。

2)予備知識(予習含む)はどうだったか？

- あまり予習はできてない印象でした。
- 二年目はますます。一年目も5月にしては勉強していると思います。
- 十分と思いました。
- しっかり学習できていたと思います。
- 十分だと思います
- BLSの知識はしっかりありました。ACLSの知識は不足気味でした。

3)到達項目について、到達できたと思いますか？



-その他の意見-

デモがあった方がシナリオの進行がよりスムーズになったのではないかと思います。
(2名)

【インストラクターについて】

4)自身はどうでしたか？

- 久しぶりだったので少し感覚が戻るのに時間がかかりました。
- 基本事項、アルゴリズムを教えるのが難しかった。
- 前半は、説明が長くなってしまい、手技の時間が少なくなってしまったので、時間管理が必要と感じました。
- シナリオの中で、参加者全員の軌道修正をしていく技術が不十分でした。

5)同僚のインストラクターはどうでしたか？

- 熱心に指導していました。
- とてもやりやすかったです！
- 色んな職種の人っていて、色んなお話が聞けたのが良かったと思います。
- 安定の安心感で、一緒に参加させて頂くなかで、すごく安心できます。
- 自分の不十分な点をうまくフォローして頂いたと思います。

6)アシスタント、チューターはどうでしたか？

- 熱心に指導をしていました
- 素晴らしい！
- 積極的に指導されてらっしゃったと思います。
- 機器の使い方などにも慣れることができました。(アシスタント本人)

7)到達項目を十分教えることが出来たか？



8)講習会全体について

- 講習時間について 全員適度
- 指導内容(量)について 全員適度
- その他意見
 - 1年目と2年目、職種がバラバラだとなかなか教えるのが難しいと思いました。
 - モニターがあったほうが、バイタルサインが表示できて、リアリティがでるのではと感じました。
 - パッドの習熟に時間がとれないので、事前に取り扱いに習熟する時間がほしいと思いました。

9)運営者について

1. 当日の運営はどうでしたか？

- 問題なし(2名)
- 少し時間が短かった。
- 特に問題ありませんでしたが、シナリオによっては難易度が高いものもありました。

2. 当日までの準備はどうでしたか？

- 問題なし(3名)
- 直前にアシスタントとしての参加をお願いすることになったのにも関わらず快く対応して頂きました。

10)今後のこの会についてひとこと

- みなとメディカルセンターでもできれば…(みなとMより参加のインスト)
- よりよく教えられるようにもっといろいろ勉強します。
- 機会がありましたらまたよろしくお願いします。





フォトギャラリー

